

「遊びこむ経験が学ぶ力になる」

日々、子ども達をたっぷりと遊ばせていますか？といっても、今はコロナ感染の影響で、なかなか思い切りとまではいきませんよね。

最近の調査等で、「幼児に遊んだ経験が子どもの学びに向かう力になる」という事が分かってきました。

でも、遊びであれば何でも良い、ということではありません。

「遊びこむ」とは、好きな事や得意な事を活かして遊ぶ、自分なりの工夫をする、挑戦的な活動に取り組むなどです。

そういう遊びをしている子どもは、「いろいろなことに自信をもって取り組める」「新しい事に好奇心を持てる」という「学びの力」が高いのです。

そこで、子どもの脳の発達やスキルに効果的な遊びをご紹介します。

たとえば、子どもの大好きな「ごっこ遊び」は、相手の立場になって考える思考や、言語力、コミュニケーション能力を伸ばしてくれます。

そこで、お家で一緒に遊び時に、より効果的なのは、お店屋さんごっこなどの時に「身体によいお菓子はありますか？」「木になる果物はありますか？」など、子どもの思考をちょっと刺激する質問をしてみると良いですよ。

また、「図鑑を見る」というのも良いとされています。

「図鑑」は、文字のほかに写真やイラストが乗っていますので、言語、図形、空間を一度に認識し、それが脳の活性化につながります。

さらに、図鑑で見た花や虫の本物を外で実際に見るのもより効果的です。

リアル（本物）とバーチャル（図鑑）を体験する事で、子どもの好奇心はさらに刺激され、学びも深まります。

より効果的なのは、「どうして雲はできているのでしょうか？」や「ちょうちょうの口って、どんなのが知ってる？」など難しいクイズを出します。

子どもが十分に考えたタイミングで、「答えは・・・」と一緒に、図鑑を見ると良いですよ。

考える事が脳の活性化にもつながるのです。

これらの遊びは、室内はもちろん、移動中や入浴中などいつでも遊べるので、ぜひ親子で一緒に楽しんでみてくださいね。